

<b>事業所名</b>	<b>グループホームあいあい</b> (クリックすると事業者の情報にリンクします)
<b>日付</b>	平成18年 1月30日
<b>評価機関名</b>	<b>㈱東京リーガルマインド</b> (クリックすると評価機関の情報にリンクします)
<b>評価調査員</b>	A:現職 生活指導員 資格・経験 介護支援専門員、ホームヘルパー2級、社会福祉主事、訪問介護員 B:現職 元介護支援専門員 資格・経験 介護福祉士、介護支援専門員
<b>自主評価結果を見る</b>	(事業者の自主評価結果にリンクします)
<b>評価項目の内容を見る</b>	(評価項目にリンクします)
<b>事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)</b>	(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

## 外部評価の結果

<b>講評</b>
全体を通して特に良いと思われる点など(記述)
瀬戸内の静かな入り江に面した日当たりの良い高台に位置し、近隣する市の文化・体育ゾーンを見渡せ、バス停も近い。
開設して7ヶ月だが、代表者・ホーム長・管理者・スタッフ一丸となって、入居者一人ひとりの特性を把握し、和気あいあいとしたアットホームな共同生活を目指し頑張っている。
管理者は看護師であり、協力医療機関として総合病院・歯科医院、近くの内科医院からは週1度の住診があり、常時専門家による健康管理と緊急時の対応が可能で、入居者は安心した生活が送れている。
特に介護では統一したケアが出来るように、入居者個々の担当スタッフが毎日順次交代し、全職員がすべての入居者の個性・特徴を肌でつかみ、変化のある時には、直ちに誰もが対応出来る体制にしている。
原則として固定したスケジュールは無く、個々の生活リズムを重要視している。入居者の食べる楽しみ、作る楽しみ、遊ぶ楽しみを具体化して大切にしていこうとしており、冷蔵庫にある食材を見て日勤者が入居者と話し合い、体調等を考えながらその日の献立を決めて生活リハビリに取り組んでいる。
特に改善の余地があると思われる点(記述)
開設後間もない時で(7ヶ月)、何事もこれからのホームであるが、菜園も造成しつつあり、すぐ近くの運動公園の利用、保育園・幼稚園との連携を視野に入れ、外出を勧め、ホーム誌の発行計画、接遇の勉強会を開く等、入居者の潤いと生き甲斐のある生活、自立に向かって諸々のシステム構築の時期である。管理者・若いホーム長は、その目標に向かってスタッフと一丸となり、計画された方針に沿って頑張っている。引き続き目的に向かって努力・精励されることを期待する。

## I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	<b>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</b>		
	和気あいあいの「あいあい」、愛がいっぱいの「あいあい」、笑顔があふれる「あいあい」の家庭的な環境の中で、尊敬のある自分らしい生活を送ることを目指している。		
	いつまでも可能性を持った人であるという視点から、入居者が自分で出来ること(更衣・洗濯たため、掃除・調理の手伝い等)を開発・助長して、残存能力を維持出来るように努力している。		
	「食事は最大の楽しみである。」として、入居者とスタッフが冷蔵庫の食材を見て、共にその日に献立を考え、一緒に手伝う家庭的な共同生活を目標としている。		
	海と山に囲まれた温暖で健康的なロケーションを生かし、一人ひとりの生活スタイルを尊重し、個々の価値観・人生観・経験を大切に、安らぎと潤いのあるホーム生活を生み出すことを目標としている。		

## II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	<b>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</b>		
	入居者本人の自主性を尊重し、指示・強制・押し付けをせず、いつでも手が出せる状態で見守るようにしている。		
	高齢者への挨拶・声かけなどの場合も、「親しき中にも礼儀を忘れず」として、穏やかに、優しく、丁寧に接して、心落ち着いて生活出来るように努力している。		
	今までの生活歴・リズムを大切にして、出来るだけ今までと同じような生活様式の継続を支援するよう取り組んでいる。		

## III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

## III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	<b>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)</b>		
	入居者が自然体の中にもその人らしさを出せるように、個々の入居者の経験・能力を共同生活の中で把握し、自分で出来ること・したいという自主性を尊重するようにしている。		
	居室にはノックをして了解を得てから入るようにし、呼びかけも本人が望む尊称を使うようにしている。		
	個人個人のデータ・情報は事務所で保管され、厳重に管理されている。		

## IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	<b>サービスの質の向上に向け頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)</b>		
	自主評価に厳しい姿勢で臨み、介護資質向上に努力するホーム長以下スタッフ全員の真摯な態度が見られ、これからの発展・充実が期待が出来る。		
	開設7ヶ月の短い期間にありながら、接遇について講師を招き、特に言葉使い・声かけ等の内部研修等を行い、人間関係を大切に魅力ある共同生活推進に取り組んでいる。		
	ホーム内での衛生管理には特に留意し、職員・入居者とも手洗いを励行し、キッチン・食堂等の清潔保持には滅菌設備も活用して、事故・問題発生を未然に防ぐようにしている。		
	現在まで問題・事故は報告されていないが、ヒヤリハットは記録に残してあり、スタッフ一同でよく協議・検討し、事故発生防止に万全を期している。		